

令和7年度

第1回会津美里町観光まちづくり推進協議会

日 時 令和7年6月24日（火）14時開会

場 所 会津美里町役場 2階 大会議室

次 第

委嘱状交付

1. 開 会

2. 町長挨拶

3. 委員紹介（自己紹介）

4. 委員長及び副委員長の選出

5. 議 事

（1）第1次観光振興計画の振り返りと課題について・・・1P

（2）第2次観光振興計画の方針について・・・・・・・・・・18P

（3）本年度目標について・・・・・・・・・・・・・・・・・・20P
第2次観光振興計画の策定

（4）スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・23P

（5）アンケートとワークショップについて・・・・・・・・・・24P

6. そ の 他 次回 9月予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・26P

7. 閉 会

令和7年度 会津美里町観光まちづくり推進協議会委員

NO	所 属	職 名	氏 名	備考(要綱)
1				首都圏からの外部有識者 (第3条第2項第1号委員)
2				会津美里町観光協会 (第3条第2項第2号委員)
3				会津美里町商工会 (第3条第2項第3号委員)
4				会津美里振興公社 (第3条第2項第4号委員)
5				地元観光関係者 (第3条第2項第5号委員)
6				地元観光関係者 (第3条第2項第5号委員)
7				地元観光関係者 (第3条第2項第5号委員)
8				町内女性グループ (第3条第2項第6号委員)
9				地元事業者 (第3条第2項第6号委員)
10				地元観光関係者 (第3条第2項第5号委員)
11				地元観光関係者 (第3条第2項第5号委員)
12				地元事業者 (第3条第2項第6号委員)

会津美里町観光まちづくり推進協議会 事務局

NO	所 属	職 名	氏 名	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

第1次観光振興計画の振り返りと課題について 1-1

1. 第1次観光振興計画の振り返り
令和3年度から令和7年度までの後期観光振興計画では、4つの施策と9つの戦略プログラムを設けるとともに、重点的に取り組む施策として、3つのアクションプランと11のプロジェクトを策定し、推進してきたが、結果として、一部、達成できたところもあったが、充分に成果が得られたとは言えない状況である。

(1) 基本目標の達成状況(令和6年度)

指標	計画 策定前 (H26 前期1年目)	令和2年度 (前期観光 振興計画5 年の最終 年)	令和3年 度	令和4年 度	令和5年 度	令和6年度		令和7年 度
① 一人あたりの観光消費額	2,452円	2,400円	2,494円	2,935円	3,084円	4,331円	対前年度比率 140.4%	
		目標値 3,720円	目標値 2,550円	目標値 2,700円	目標値 2,850円	目標値 2,950円	達成率 146.8%	目標値 3,091円
② 観光入込客数	205万人	85万人	※R2に見直し済。 不確定なデータが多いため、 後期振興計画(R3～R7)では削除し、今後は検証しない。					
		目標値 210万人						
③ 観光施設入込客数	6.3万人	4.5万人	2.3万人	3.2万人	2.6万人	2.3万人	対前年度比率 88.5%	
		目標値 6.8万人	目標値 4.7万人	目標値 4.9万人	目標値 5.1万人	目標値 5.3万人	達成率 43.4%	目標値 5.5万人
④ 観光消費額	1億5,448万円	6,064万円	5,735万円	9,256万円	7,682万円	9,821万円	対前年度比率 127.8%	
		目標値 2億5,296万円	目標値 8,200万円	目標値 1億0,400万円	目標値 1億2,600万円	目標値 1億4,800万円	達成率 66.4%	目標値 1億7,000万円

【分析】

令和6年度は、後期観光振興計画の4年目にあたる。
令和7年度で10年の計画の節目となり、現状と将来を見据えて次の計画を策定する必要がある。

①一人当たりの観光消費額は、4,331円となり目標値は達成している。しかし、この数値は、④の観光消費額を、③の観光施設入込客数で割るため、③の人数が少なければ高く出てしまう。③と④の両方の数値が増加して、目標値を達成することが望ましい。

③観光施設入込客数は2.3万人となり、昨年より3,000人減少した。新鶴温泉んだ、ツブラゴッツォで増加するも、会津本郷焼物組合、流紋焼、新鶴ワイナリーなど小売業、にんじん湯や花紋屋の旅館業で減少し、本郷の吉田屋旅館が廃業した。減少の理由を会津本郷焼物組合等に聞くと、団体のバスの本数が減っていることに加え、個人のお客も減少しているとのことであった。単体でのPRでは限界があり地域全体で継続的なプロモーションが必要だという意見があった。(会津本郷焼物組合、流紋焼、酔月窯、新鶴ワイナリー、ツブラゴッツォ、新鶴温泉んだ宿泊のみ、にんじん湯、花紋屋、※吉田屋旅館廃業)

④観光消費額は9,821万円であり、目標には届かなかったが、昨年よりは上昇した。宿泊施設として、一人当たりの単価が高い、新鶴温泉んだの売り上げの増加が全体額を押し上げているが、新鶴温泉以外は全て減少している。③の観光入込客数が上昇しないと、全体額を押し上げることは難しいと思われる。(対象施設は③に同じ)

観光入込客数は目標の約43%、消費額は約66%となり、目標値には届かなかった。
各施設の観光入込客数を増やし、魅力ある商品や宿泊プランをそろえ、対外なアピールを継続し、新規のお客様とリピーターを獲得し、地元での消費を促進する取り組みや仕掛けが必要である。

◆後期 5 年 観光振興計画（令和 3 年度～令和 7 年度）

令和 6 年度

観光振興計画の施策体系

A	観光地としての受け入れ基盤整備
---	-----------------

通年

成果指標

	指標		令和元年度 実績値	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
①	観光宿泊客数	目標値	15, 279人	15, 499人	15, 800人	16, 000人	16, 200人	16, 400人	16, 600人
		実績値		6, 000人	6, 712人	12, 285人	11, 379人	13, 058人	
				39%	42%	77%	70%	80%	0%
②	インフォメーションセンター利用 客数 ※【前期（H26- R2）】観光レンタルサ イクル貸出件数	目標値	32, 566人	33, 380人	34, 200人	35, 000人	36, 000人	36, 500人	37, 451人
		実績値		16, 215人	24, 979人	31, 010人	25, 799人	25, 906人	
		実績値		49%	73%	89%	72%	71%	0%

令和 6 年度活動実績

①新鶴温泉んだ、にんじん湯吹上荘、花紋屋旅館、ふれあいの森公園、会津野（令和 5 年度廃業）、螢の宿 こぶし荘（令和 5 年度廃業）、蓋沼森林公園、割烹旅館 吉田屋（令和 6 年度廃業）、せせらぎ公園オートキャンプ場、ツブラゴッツォの合計
②高田インフォメーションセンター、本郷インフォメーションセンターの合計

指標の分析（成果が向上した、又はしなかった理由）

①	吉田屋が廃業したが、全体の宿泊客数としては昨年度よりも増加した。理由は、新鶴温泉んだ以外で落ち込んでいるが、新鶴温泉の宿泊者数が全体を押し上げているためである。
②	前年度とほぼ同数の入館者数であるが、向羽黒山城を訪れる人が増えており、大手の両行会社の団体もあるが、歴史ファンの個人客が多い。首都圏はもとより、関西や中国地方からの来訪者もあった。外国人の散見し、台湾やベルギーなどからの来訪者もあった。

◆後期 5 年 観光振興計画（令和 3 年度～令和 7 年度）

令和 6 年度

観光振興計画の施策体系

B	着地型観光の確立
---	----------

通年

成果指標

	指標		令和元年度 実績値	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
①	観光ガイド実施回数 ※【前期】会津本郷焼 事業協同組合の売上額	目標値	53件	59件	65件	70件	75件	80件	89件
		実績値		0	15件	40件	33件	31件	
				0%	23%	57%	44%	39%	0%
②	モニターツアーの 参加人数 ※【前期】歴史文化事 業・施設等への町外参 加者数	目標値	人	17人	33人	50人	65人	80人	100人
		実績値			51人	81人	18人	3,201人	
		実績値		0%	153%	162%	28%	4001%	0%

令和 6 年度活動実績

- ①向羽黒山城跡等のガイドであり、（一社）会津美里町観光協会への依頼件数である。
②向羽黒山城まつりのツアー及びクラブツーリズムのツアー、極上の会津で企画した奇祭高田大俵引きのツアー参加者の合計である。

指標の分析（成果が向上した、又はしなかった理由）

①	昨年度より減少した。向羽黒山城跡のガイドの数であるが、法用寺、左下り観音などのガイドがなかったため、全体数は下がったと思われる。法用寺、左下りを含むガイドのホームページの充実を図ることで、件数を増やしたい。
②	クラブツーリズム株式会社等が数年前より、ツアーしたため大きな数字となった。本町の伊佐須美神社や向羽黒山城跡などを巡回するツアーを展開している。向羽黒山城跡を訪れた際には、観光協会にガイドの依頼があり、好評を得ている。こういったツアーと増やしていくことを目指したい。

◆後期5年 観光振興計画（令和3年度～令和7年度）

令和6年度

観光振興計画の施策体系

C 観光まちづくりの推進

📅 通年

成果指標

	指標		令和元年度 実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	ポータルサイトへのアクセス数	目標値	146,285件	158,000件	170,000件	182,000件	194,000件	206,000件	219,427件
		実績値		146,824件	193,318件	125,589件	167,958件	179,139件	
				93%	114%	69%	87%	87%	0%
②	SNSInstagram、 「#会津美里の日々」の投稿回数 (累積数) ※【前期】観光ガイドの回数	目標値	3,709回	5,254回	6,000回	7,500回	9,500回	11,000回	12,979回
		実績値	3,709回	4,163回	5,836回	8,084回	11,000回	13,000回	
		実績値		79%	97%	108%	116%	118%	0%

令和6年度活動実績

- ①観光ホームページの一元化を進め、Instagramと連携したタイムリーな情報発信を継続し、会津本郷焼、農作業体験などの体験型コンテンツ、向羽黒山城特別サイトリンク等を充実させた。
- ②SNSのひとつであるInstagram、#会津美里の日々への投稿数。フォトコンテストを実施してポスター化し、PR素材として活用している。

指標の分析（成果が向上した、又はしなかった理由）

①	令和5年度よりもアクセス数が増えているが、目標値の87%に留まった。増加しているのは、観光情報やイベント情報の発信源として情報取得者に定着しつつあるらだと思われるが、新規にアクセスを増やしていくためには、Instagramと連携したタイムリーで活発な情報発信が必要である。
②	観光協会のInstagramでの発信が活発であることやフォトコンテストの実施が投稿数を増やしているため。令和5年度から投稿回数が千単位になったのは、Instagramの運営会社が細かい表示をしなくなったためである。

◆後期 5 年 観光振興計画（令和 3 年度～令和 7 年度）

令和 6 年度

観光振興計画の施策体系

D	地域連携による観光事業の拡大
---	----------------

通年

成果指標

	指標		令和元年度 実績値	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
①	海外からのポータルサイトへのアクセス数	目標値	1,060件	1,200件	1,350件	1,500件	1,650件	1,850件	2,000件
		実績値		1,060件	2,783件	1,481件	1,797件	2,352件	
				88%	206%	99%	109%	127%	0%
②	観光大使の登録数 ※【前期】観光施設へのWi-Fi観光の整備箇所数	目標値	人	3人	7人	10人	13人	15人	20人
		実績値		0	0	5	10人	15人	
		実績値		0%	0%	50%	75%	100%	0%

令和 6 年度活動実績

①観光協会のホームページへの海外からのアクセス数である。（上位は、米国563、ハンガリー160、台湾151） ②佐久間富美恵氏（元ミスあやめ、おもてなし福島通訳ガイド）、越尾さくら氏（歌手）、山浦 雅也氏（サクソフォン奏者）、中島フミアキ氏（歌手、ギタリスト）、村上愛花氏（モデル、女優）5名に委嘱した。
--

指標の分析（成果が向上した、又はしなかった理由）

①	福島県や極上の会津プロジェクトなど多言語化が図られている広域連携のホームページとの連携が功を奏していると思われる。アメリカ、ハンガリー、台湾の上位3か国について、アメリカが英語圏であることと、台湾の旅行者が増えていることを、観光協会窓口で実感していると聞いているが、2位がハンガリーとなった理由は不明である。
②	年次計画で観光大使を適宜、任命していることが要因である。令和6年度は初めて女性の観光大使を任命するなど、多岐にわたるPR活動が望まれる。

アクションプラン総括表

	プロジェクト名	内 容
アクションプラン①	A 個別観光拠点の強化	・立ち寄り拠点の拡充、整備 ・宿泊・交流拠点の整備 ・ニーズに対応した温泉宿泊施設の再整備 ・空き店舗等を活用した 回遊・交流・宿泊拠点等の拡充
	B 美里めぐりのモデルルートと商品化 ※リーディングプロジェクト①	・すでに来ている方に満足して頂くコンテンツの開発 ・潜在的な魅力の掘り起こしと次世代やインバウンドを意欲したコンテンツの開発 ・ターゲットを想定したモデルルートの開発と商品化
	C モデルルートの環境整備と情報発信	・観光施設の整備および改修 ・二次交通の高度化 ・観光ガイドの育成と持続可能な運営 ・利用者目線による情報発信体制の構築 ・回遊・滞在に必要な情報の適切な媒体による提供
	D 町民が美里の魅力を知る機会の創出	・潜在的な魅力の掘り起こしと次世代やインバウンドを意欲したコンテンツの開発 ・町の魅力を再認識する機会の提供 ・観光百人衆の拡充
	A 町民参加型の実行委員会によるイベント実施 ※リーディングプロジェクト②	・多様な主体の参加によるイベント等の実施
アクションプラン②	B 既存イベントを活かした日帰り・滞在おもてなしプログラムの開発	・主要イベント時に合わせた関連プログラムの企画・実施 ・利用者目線による情報発信体制の構築
	C 農を活かした食の体験と商品づくり	・食のコンテンツ開発 ・六次化などによる特産品開発、販路開拓 ・特定テーマによる広域連携プログラムの開発
	D 分散型宿泊と、温泉、ダイニング、お土産処が連携したおもてなし	・ワンストップ型おもてなし体制の構築
	A 外部サポーターの形成	・外部サポーターの形成 ・観光百人衆の拡充
アクションプラン③	B 入り口となる情報発信の拡充 ※リーディングプロジェクト③	・利用者目線による情報発信体制の構築 ・認知度向上と購買、来訪につながる情報発信、話題づくり ・将来のインバウンド誘致に向けたコンテンツ開発と情報発信
	C これらの事業を推進するための連携による体制づくり	・連携による観光まちづくり推進体制の構築

アクションプランの実施状況

	プロジェクト名	評価	コメント
アクションプラン1	A 個別観光拠点の強化	△	令和4年.5月.空き店舗を活用し、本郷にコバコ。 令和5年度、新鶴温泉及び宿泊施設を民間経営として維持
	B 美里めぐりのモデルレレートと商品化 ※リーディングプロジェクト①	△	首都圏大手、クラブツーリズム、地元会津若松のRH企画がツアー化
	C モデルレレートの環境整備と情報発信	△	極上の会津プロジェクトにおいて、モデルレートを公開
	D 町民が美里の魅力を知る機会の創出	△	令和5年度、6月の向羽黒山城まつりでガイド付きツアー 令和6年度.10郷土資料館さとりあ開館
アクションプラン2	A 町民参加型の実行委員会によるイベント実施 ※リーディングプロジェクト②	△	令和4年度.10月.ワイン祭りからみさとワインフェスへ移行。事務局集中から出店者持ち寄り型へ変化。
	B 既存イベントを活かした日帰り・滞在おもてなしプログラムの開発	△	極上の会津プロジェクトにおいて、暮らすような旅の一環として高田の大 俵引きをツアー化
	C 農を活かした食の体験と商品づくり	×	継続せず
	D 分散型宿泊と、温泉、ダイニング、お土産処が連携したおもてなし	△	本郷地区、まちやど構想も実現途中
アクションプラン3	A 外部サポーターの形成	△	令和6年度、観光大使15名。
	B 入り口となる情報発信の拡充 ※リーディングプロジェクト③	△	観光情報を観光協会HPへ一元化。体験ツアーのサイトを構築するほか、タ イムリーな情報発信としてインスタを活用。
	C これらの事業を推進するための連携による 体制づくり	△	上記の個々のプロジェクトを進めているが、全体を統括するコーディネー ターとしての人材、組織が不在。

② 3つのリーディングプロジェクト

アクションプラン1、B各種モデルレポートの作成と商品化検討

➡△ 一部で達成も内容の充実化と対外的なPR、申請窓口の一本化まで至らず

アクションプラン2、A新体制による実験的なイベント企画実施

➡△ ワイン祭りからワインフェスへ。事務局とスタッフに労力が集中していたワイン祭りを県内外のワイナリーや飲食事業者を誘致し、労力を分散化、ファミリー層や女性層を取り込んでいる。しかし、その他のイベントについては、旧来の様式から変更できず、独自財源や地域の経済効果を実感できるところまでは至っていない。

アクションプラン3、B利用者目線によるポータルサイト等の再整備とタイムリーな発信

➡○ 観光協会のポータルサイト「ミサトノ」へ観光情報を一元化。観光協会インスタグラムによるタイムリーな発信を実施している。

しかし、アクションプラン1、A個別観光拠点の強化においては、新鶴温泉を廃止することなく、民間譲渡を果たした点や、本郷地域において空き店舗を利用したコバコガオープンするなど、民間による強化が図られた。

会津の冬 魅力 発見 バスツアー

両ツアーとも会津伝統野菜
「おたねにんじん(高麗人参)」
を使ったメニューの量食付!

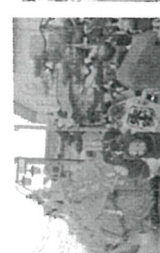
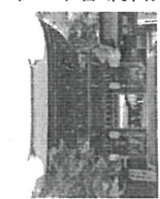
奇祭 高田大儀引き体験と 会津本郷焼絵付を楽しむ バスツアー

四百余年の伝統を誇る「奇祭・高田大儀引き」の参加・見学や
東北最古といわれる会津本郷焼の絵付け体験、神社・温泉と盛りだくさん!

1/11 土
定員42名 人数30名
郡山発着 日帰り
7,500円(税込)

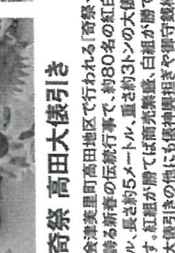
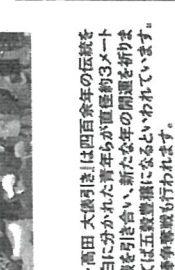
屋食付

伊佐須美神社
2000年の歴史と「会津」発祥の由来を持つ
伊佐須美神社は、古代国一之宮、会津総
鎮守として県内外から信仰を集めています。
境内には境内外から信仰を集めています。
皇室や会津松平家とも深いつながりがあり、
宝物殿には国指定重要文化財のみならず
が展示されています。



奇祭 高田大儀引き

会津美里町高田地区で行われる「奇祭・高田大儀引き」は四百余年の伝統を
誇る新春の伝統行事で、約80名の紅白に分かれた青年らが直径約3メー
トル、長さ約5メートル、重さ約3トンの大儀を引き合ひ、新たな年の開運を祈りま
す。紅組が勝てば高田繁盛、白組が勝てば五穀豊穡になるといわれています。
大儀引きの他にも御神輿担ぎや御守懸掛争奪戦も行われます。



高田大儀引きと本郷焼絵付ツアー(行程)

7:45郡山駅西口出発→伊佐須美神社→高田大儀引き会場(長良川)→郡山駅西口着
会津坂下→会津本郷焼絵付体験(新郷温泉)→郡山駅西口着

※雨天祭などの影響により、時間・行程が変更になる場合があります。

◆集合場所:JR郡山駅西口バスターミナル
◆集合時間:午前7時25分 出発:午前7時45分
◆参加費:参加費42名(定員) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆旅行代金:郡山駅西口バスターミナル 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆旅行条件:会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆添乗員:同行しませんが、民権社員が同行し、ご案内いたします。

※往復はがき1枚につき2名様まで申込可。申込多数の場合は抽選、抽選に当たります。
※参加費全員の住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入し、必ずお名前を記載してください。
※1/11(木)は会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
※会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
※個人情報の取り扱いについて、本事業以外の用途には使用しません。

三島のサイノカミと 会津伝統の食を楽しむ バスツアー

国指定重要無形民俗文化財の「三島のサイノカミ」、
日本酒、おたねにんじん、ソースカツ丼など会津の食も満喫!

1/15 水
定員42名 人数30名
郡山発着 日帰り
6,500円(税込)

屋食・夕食付

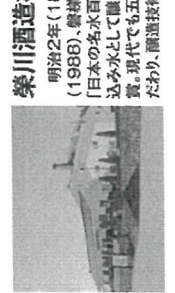
伊佐須美神社
今年の伊佐須美神社の節分祭は若殿
元・若元春、若殿景の大道三九郎を迎え
2月2日(日)に行います。午後4時からつ
いに行事・福豆まきが行われ、福豆を拾
われた方に比喩で福物を進呈、間い合
わねばは秋場所0242-54-5050まで。



三島のサイノカミ
五穀豊穡、無病息災、村中安全を祈願する
伝説行事で、国指定の重要無形民俗文化財
に選定されています。毎年1月15日に実施さ
れ、御神木(ゴシンボク)と呼ばれる木を山から
伐り出し、燃え草を巻き付け柱とし、御神(オン
ベ)と呼ばれる縁起物を取り付けて立てます。
夕刻に点火し、オンベに火が点くと縁起が良
い、燃えた草を体の悪い部分に巻くと良くなる
とも云われています。
この行事は町の
人々によって今日
まで守り伝えられ、「日
本で最も美しい村」
連合加盟の豪傑賞
源にもなりました。



栄川酒造株式会社
明治2年(1869)に創業、平成元年
(1988) 栄川町に工場を新設した。
[日本]の名水百選に選ばれた良水を仕
込み水として醸したお酒は数々の賞を受
賞、現代でも五感を活かした手造りに
こだわり、醸造技術を進化させています。



◆集合場所:JR郡山駅西口バスターミナル
◆集合時間:午前8時40分 出発:午前9時
◆参加費:参加費42名(定員) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆旅行代金:郡山駅西口バスターミナル 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆旅行条件:会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆添乗員:同行しませんが、民権社員が同行し、ご案内いたします。

※雨天祭などの影響により、時間・行程が変更になる場合があります。

サイノカミと会津伝統食ツアー(行程)
9:00郡山駅西口出発→伊佐須美神社→会津坂下→三島町サイノカミ会場→20:45郡山駅西口着
立て→一泊の別荘旅館泊(お宿)→三島町サイノカミ会場→20:45郡山駅西口着

◆集合場所:JR郡山駅西口バスターミナル
◆集合時間:午前8時40分 出発:午前9時
◆参加費:参加費42名(定員) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆旅行代金:郡山駅西口バスターミナル 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆旅行条件:会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆添乗員:同行しませんが、民権社員が同行し、ご案内いたします。

◆集合場所:JR郡山駅西口バスターミナル
◆集合時間:午前8時40分 出発:午前9時
◆参加費:参加費42名(定員) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆旅行代金:郡山駅西口バスターミナル 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆旅行条件:会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆添乗員:同行しませんが、民権社員が同行し、ご案内いたします。

◆集合場所:JR郡山駅西口バスターミナル
◆集合時間:午前8時40分 出発:午前9時
◆参加費:参加費42名(定員) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆旅行代金:郡山駅西口バスターミナル 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆旅行条件:会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市) 会津(会津市)
◆添乗員:同行しませんが、民権社員が同行し、ご案内いたします。

お申し込み方法 申込フォーム または往復はがきにて必要事項を記入の上、お申し込みください。
住所:〒965-0804 会津若松市花澤町3-1 福島民報社 会津若松支社

お申し込み方法 申込フォーム または往復はがきにて必要事項を記入の上、お申し込みください。
住所:〒965-0804 会津若松市花澤町3-1 福島民報社 会津若松支社

お申し込み方法 申込フォーム または往復はがきにて必要事項を記入の上、お申し込みください。
住所:〒965-0804 会津若松市花澤町3-1 福島民報社 会津若松支社

お申し込み方法 申込フォーム または往復はがきにて必要事項を記入の上、お申し込みください。
住所:〒965-0804 会津若松市花澤町3-1 福島民報社 会津若松支社

お申し込み方法 申込フォーム または往復はがきにて必要事項を記入の上、お申し込みください。
住所:〒965-0804 会津若松市花澤町3-1 福島民報社 会津若松支社

お申し込み方法 申込フォーム または往復はがきにて必要事項を記入の上、お申し込みください。
住所:〒965-0804 会津若松市花澤町3-1 福島民報社 会津若松支社

お申し込み方法 申込フォーム または往復はがきにて必要事項を記入の上、お申し込みください。
住所:〒965-0804 会津若松市花澤町3-1 福島民報社 会津若松支社

参加者 28名 9名が引き子として参加
50から83歳 主に県内

クラブツーリズムによる会津美里町経由ツアー調査

■福島県会津美里町ツアー実績集計

		2023年度合計	2024年度9月まで
宿泊ツアー	送客人数	2,629	3,140
	設定本数	132	137
	催行本数	75	101
	催行率	57%	74%
	売上高(円)	91,805,020	123,930,750
	単価(円)	34,920	39,468
日帰りツアー	送客人数	51	17
	設定本数	5	2
	催行本数	3	1
	催行率	60%	50%
	売上高(円)	1,559,100	552,800
	単価(円)	30,571	32,518
総合計	送客人数	2,680	3,157
	設定本数	137	139
	催行本数	78	102
	催行率	57%	73%
	売上高(千円)	93,364	124,484
	単価(円)	34,837	39,431

■福島県会津美里町ツアー実績集計

2023～24年度の会津美里町関連ツアーの送客実績を集計

・集計基データ

Neo登録データ

売上高は全国旅行支援・CTP等の割引適応前の売上高にて集計

・集計対象コース

コース名もしくは工程情報に以下名称のいずれかが登録されているコースを対象に集計

会津美里

伊佐須美神社

向羽黒山城

新鶴ワイナリー

新鶴温泉

本郷温泉

左下り観音

4. 4つの施策の柱と9の戦略プログラム

1) 施策の体系

前期計画の基本構想において設定した4つの施策の柱を継承するが、目標の達成に向け、より効果を発現させるため、事業を絞り込み、9の戦略プログラムを設定する。

A. 観光地としての受け入れ基盤整備

既存の施設を活用しながら、基本となる受け入れ基盤を整え、快適な滞在を実現するとともに、賑わいの再構築を目指す。

B. 着地型観光の確立

町の資源の発掘と磨き上げをさらに行い、美里の持ち味を十分に生かしながら、ターゲットに満足頂ける、ここならではの特別な体験を提供する。

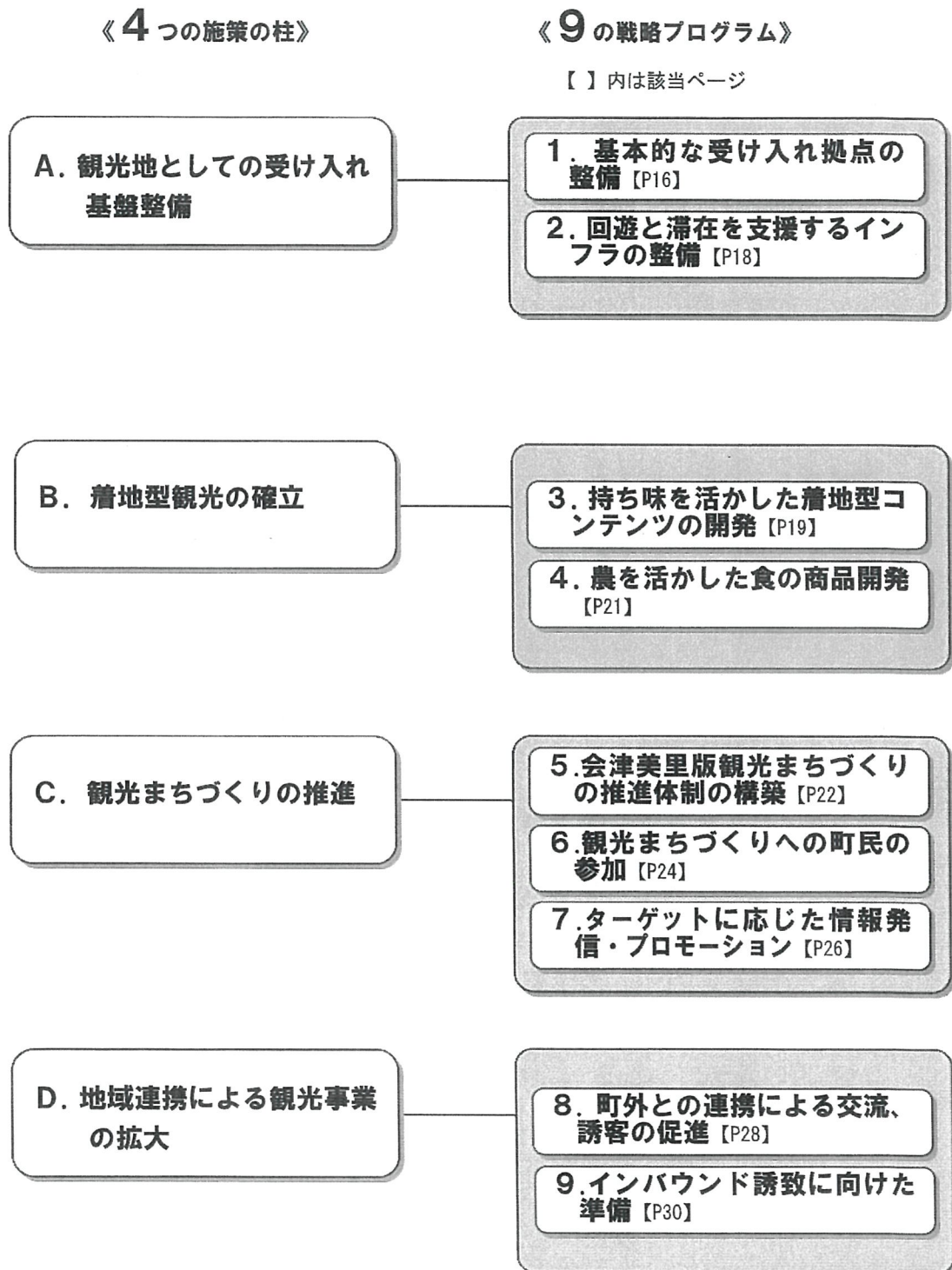
C. 観光まちづくりの推進

町内各者の連携により体制を整え、多様な町民の参加により、観光事業を推進する。会津美里町らしさを積極的にPRし、認知度向上、来訪へとつなげる。

D. 地域連携による観光事業の拡大

近隣地域と連携して地域の魅力を高めるとともに、効率的なプロモーションを図る。また、都市部や町外在住の町出身者等とのつながりを密にし、応援団を増やす。

■施策体系図



2. アクションプラン

後期基本計画において、課題への対応と目標達成に向け、重点的に取り組むべき事業を選定し、相乗効果の視点から関連事業を合わせてパッケージ化し、各事業を連携して展開することで、地域全体への波及効果が期待できる。

後期アクションプランでは、後期の基本方針のひとつでもある「つながり」や「連携」をテーマに、3つのアクションプランを設定した。アクションプラン1は観光資源や拠点など、今美里にある「もの」からの展開、アクションプラン2は、ものを活かしてつなげて生み出す「こと」からの展開、アクションプラン3は「ひと」からの展開として設定した。

アクションプランのうち、これまでの活動成果を踏まえながら次のステップへの展開を図る先導的な「リーディングプロジェクト」として、実現可能性の高さ、波及効果の大きさの観点から3つの事業を選定し重点的に推進していく。

さらに、これらを推進するにあたり必要な推進体制の構築については、「観光まちづくり推進体制アクションプラン」を示す。

【3つのアクションプランと推進体制アクションプラン】

アクションプラン1：観光資源、拠点施設をつなぐ観光エリアづくり

- リーディングプロジェクト①：祈りと中世の歴史のモニターツアー

アクションプラン2：イベントから滞在につなげていく観光商品開発

- リーディングプロジェクト②：既存イベントの新体制による試行実施

アクションプラン3：関係人口から観光・交流人口につなげるきっかけづくり

- リーディングプロジェクト③：利用者目線によるポータルサイト等の再整備とタイムリーな発信

◎観光まちづくり推進体制アクションプラン

また、これらのアクションプランの作成にあたり目安となる年度毎の目指す姿を以下に示す。

【各年度毎の目指す姿】

- 1年目：連携による推進体制づくり、情報発信基盤の再整備、ニーズ調査
- 2-3年目：着地型コンテンツづくり
(イベント刷新+滞在プログラムの開発、モデルルート開発、食の開発等)
- 4-5年目：本格的に着地型商品の販売、観光協会のDMO化

■アクションプラン総括表

□ はリーディングプロジェクト

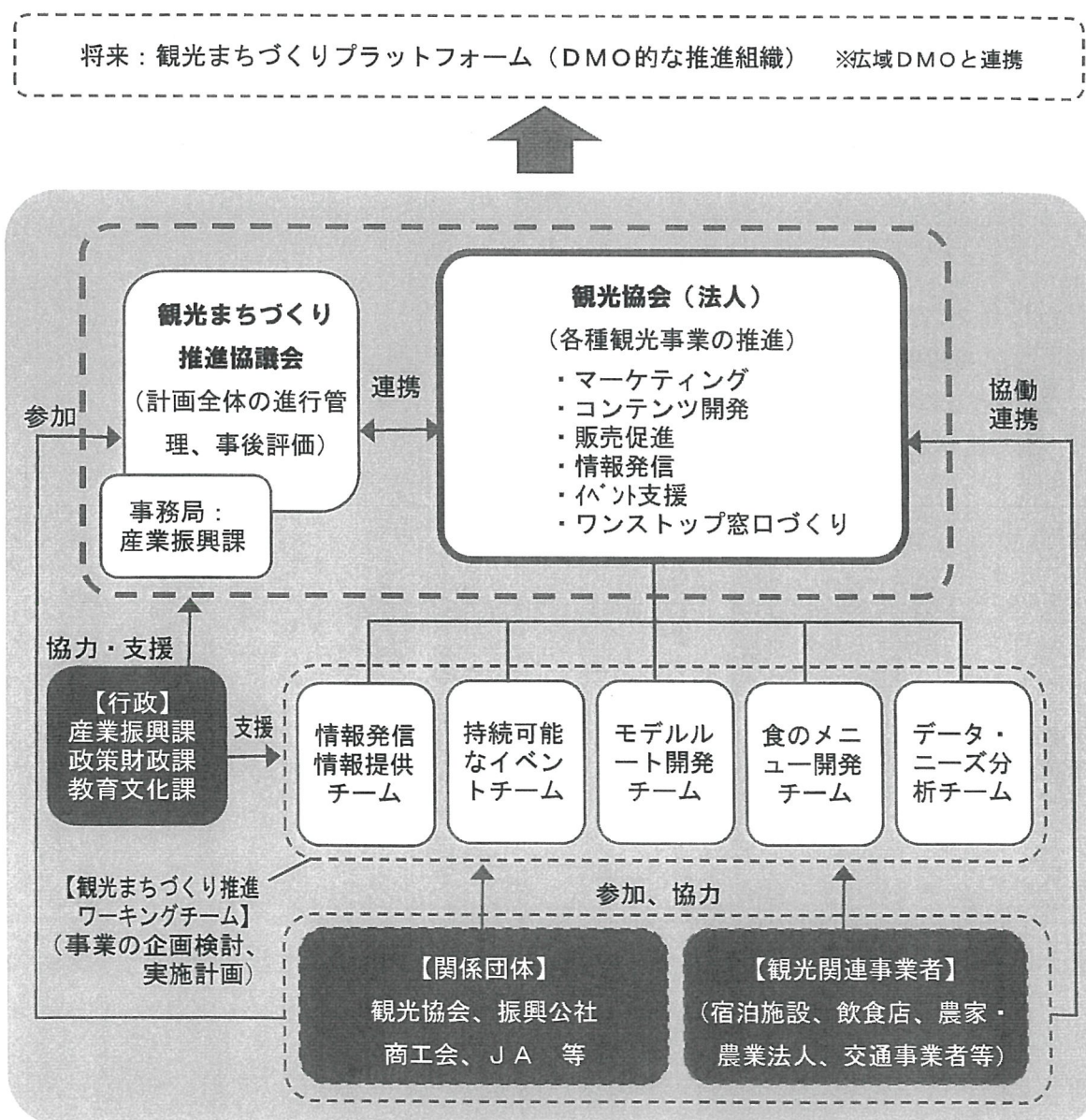
年度		短期			中期		
		R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
年度毎の目指す姿		連携による推進体制づくり、情報発信基盤の再整備、ニーズ調査		着地型コンテンツづくり		本格的に着地型商品の販売、観光協会のDMO化	
アクションプラン1	A. 個別観光拠点の強化	インフォメーション機能強化		物産販売拠点の確保		空き店舗等を活用した回遊・交流・宿泊拠点の拡充	
		宿泊・交流拠点の整備		宿泊・交流拠点の運営		温泉宿泊施設の再整備	
	リーディングプロジェクト①						
	B. 美里めぐりのモデルルート化と商品化	各種モデルルートの作成と商品化検討（モニターツアー等）				商品として販売	
C. モデルルートの環境整備と情報発信	GO TO MISATO ツアー結果分析				二次交通の拡充、案内サインの拡充等		
					若手ガイドの育成、サイクリスト等向けの環境整備等		
					モデルルートの情報発信、ガイドツアー等のオンライン受付等		
D. 町民が美里の魅力を知る機会の創出	知られざる魅力の発掘作業や文化財活動への参加		モデルルートの町民向けツアーの実施と情報発信				
	リーディングプロジェクト②						
アクションプラン2	A. 町民参加型の実行委員会によるイベント実施	新体制による実験的なイベント企画・実施（モデルケース）		モデルケースの見直しと、他のイベントにおける展開			
	B. 既存イベントを活かした日帰り・滞在おもてなしプログラムの開発	1-B（モデル）の検討を活かす		イベントモニターや体験プログラムの開発・試行実施と商品化、情報発信		継続的な実施（PDCA）	
	C. 農を活かした食の体験と商品づくり			食のコンテンツ開発（研究会やコンテスト等）		継続的な実施（PDCA）	
				特産品の開発と販路開拓、情報発信			
D. 分散型宿泊と、温泉、ダイニング、お土産処が連携したおもてなし					広域連携プログラムの開発		
			本郷地区における宿泊・交流拠点の整備（1-A）		ワンストップ型おもてなし体制の構築		
アクションプラン3	A. 外部サポーターの形成	ファンクラブメンバーへの定期的な情報提供		観光大使の任命、サポーターへの物販や交流事業の実施		継続的な実施（PDCA）メンバーの拡大	
				観光百人衆の気運醸成の機会づくりとメンバー増強			
	リーディングプロジェクト③				運営体制の見直し		
	B. 入り口となる情報発信の拡充	利用者目線によるポータルサイト等の再整備とタイムリーな発信		継続的な情報発信（PDCA）			
			認知度向上と購買、来訪につながるコンテンツ開発と情報発信（インバウンド含む）		体験等の販売サイトの構築		
					継続的な実施（PDCA）		
C. これらの事業を推進するための連携による体制づくり	関係者の連携による推進体制の構築		連携体制によるプロジェクトの推進、調整、進行管理				
			観光関連のデータ・ニーズ分析				
備考		※新鶴温泉耐用年数	※只見線全線開通 ※博士トンネル開通	※歴史資料館（新鶴）	※あやめの湯耐用年数		

◎観光まちづくり推進体制アクションプラン

観光協会は令和3年度より法人化予定で、新体制となるものの、これまでのイベント事業をやりながら、多岐に渡る観光事業を中心となって推進するには、体制づくりに一定の時間を要する。

そこで、当面の間、観光協会の下部組織として、テーマ別の「観光まちづくり推進ワーキングチーム」を設置し、ワーキングメンバーと連携しながら、企画検討や実施計画作成を行い、個別の事業を推進する。

また、観光協会は、これと並行して、職員の人材育成を行いながら、協会内の体制強化を図り、関係組織との協働連携により、DMO的な推進組織（観光まちづくりプラットフォーム）の構築を目指す。



課題について

課題については、様々な要因が挙げられる。

後期観光振興計画が、観光資源を磨き上げ、本町の魅力を打ち出したツアーを商品化し、広域連携と効果的な情報発信によって、誘客を図り、飲食店や宿泊施設に経済波及をもたらすことを目指していた。一部で実現できたところあったが、実感として効果を感じるところまでは至っていない。原因は、大きく分けて2つの要因があると考えられる。

課題1 プラットフォームの体制整備の不足

当町において、観光分野におけるプラットフォームとして第一に上げられるのが会津美里町観光協会であるが、既存事業だけで多忙を極め、マンパワー不足等により、新たな事業展開等が思うようにできなかった。これにより、通年誘客のツアーや情報発信、地元事業者との連携が取れなかったことが挙げられず、町も適切な支援や提案もできなかった。

課題2 地域経済の環境の変化

コロナ禍を含む様々な環境の変化により、宿泊または飲食等の閉業など、地域経済の受け皿となる民間事業者、施設が減少している。観光資源、観光インフラ自体、観光客に対応する人材が減少し、それまでできていたツアーが構築できないなどの支障がある。

第2次観光振興計画の方針-1

第2次観光振興計画については、以下の点を基本に方針とする。

1. 実現と持続可能な計画推進
第1次観光振興計画の理念や考え方、施策内容は踏襲した上で、実行可能な施策を抽出し、重点的に実施していく。

[第2次計画重点施策]

○ 2つの施策の柱と4つの戦略プログラム

A 観光地としての受け入れ基盤整備

1. 基本的な受け入れ観光スポットの整備
2. 会津美里町観光協会の体制見直しおよび強化

B 着地型観の確立

3. 継続的な観光事業者への支援
4. 効果的な情報発信と観光プロモーション

第2次観光振興計画の方針-2

2. メインターゲットの絞り込み

後期観光振興計画では、ターゲットを「現在、会津美里町に來ている観光客」「周辺まで來ている観光客」「新たな観光客、インバウンド」の3種類に分類し、全方位での誘客を狙った施策を数多く展開することとした。
しかし、本計画では「周辺まで來ている観光客」をメインターゲットに見据え、施策を展開する。

3. 計画の基本目標の見直し

後期観光振興計画では、

「観光施設における入込客数」「一人あたりの観光消費額」「観光消費額」の3つの基本目標を掲げたが、観光事業者の減少や正確な数字が把握困難等の理由からより正確な数字を把握することができる「観光施設における入込客数」「宿泊者数」の2つとする。

「観光施設における入込客数」

伊佐須美神社、会津本郷焼窯元、湯陶里、新鶴温泉、
あやめ祭り、奇祭大俵引き、会津本郷せと市、せせらぎ公園

「宿泊者数」

新鶴温泉んだ、にんじん湯吹上荘、花紋屋旅館、ツブラゴッツォ
せせらぎ公園オートキャンプ場、蓋沼森林公園、ふれあいの森公園の合計

【参考資料 3】

後期観光振興計画 令和3年度～令和7年度

目 次

序章 計画の目的と前期計画の検証	1
1. 計画の目的、位置づけ、計画期間	1
2. 前期計画の検証と課題の整理	2
1 章 基本構想の見直し	9
1. 将来像と後期計画における基本方針	9
2. 計画の基本目標.....	10
3. 戦略的方針	12
4. 4つの施策の柱と9の戦略プログラム.....	14
2 章 会津美里町後期観光振興基本計画	16
1. 施策別個別事業の基本計画	16
2. アクションプラン	31
3 章 会津美里町における観光の推進体制と進行管理	43
1. 官民連携による推進体制	43
2. 計画の進行管理.....	43

参考資料編

序 章 計画の目的と第1次観光振興計画の検証

- 1 計画の目的、位置づけ、計画期間
- 2 第1次計画の検証と課題の整理

第1章 基本構想の見直し

- 1 第2次観光振興計画の基本方針
「つい（全域に）足を運びたくなる会津美里町」 or
「ちょっと寄っていく！？会津美里町（THN ちょい寄り観光）」
- 2 計画の基本目標
観光施設における入込客数
観光宿泊者数
- 3 戦略的方针
会津観光に訪れている観光客の誘致
- 4 2つの施策の柱と4つの戦略プログラム
A 観光地としての受け入れ基盤整備
 1. 基本的な受け入れ観光スポットの整備
 2. 会津美里町観光協会の体制見直しおよび強化
B 着地型観の確立
 3. 継続的な観光事業者への支援
 4. 効果的な情報発信と観光プロモーション

第2章 会津美里町第2次観光振興基本計画

- 1 2つの施策別の基本計画
A 観光地としての受け入れ基盤整備
 1. 主要3地域それぞれの核となる観光スポットの整備
 2. 会津美里町観光協会の組織強化とコーディネーター育成
B 着地型観の確立
 3. 民間主導の観光コンテンツ造成の支援
新規観光事業者の掘り起こし
 4. Google ビジネスや SNS 等を活用した情報発信
旅行代理店や会津管内他地域との連携による観光プロモーション推進

第3章 会津美里町における観光の推進体制と進捗管理

- 1 官民連携による推進体制
会津美里町観光協会の役割の明確化
- 2 計画の進捗管理
PDCA サイクルによる継続的な進捗管理
進捗管理の主体

本年度の目標

第2次観光振興計画の策定

1. 計画策定の目的

少子高齢化や人材の流出など、さまざまな課題を抱える地方自治体にとって、観光施策を計画・実施することは、交流人口の引き込みを促し、外貨の獲得や雇用の創出など、地域活性化の有効な手段のひとつである。

会津美里町においても、観光振興計画を策定し、観光事業を地域経済活性化のひとつの方法として、戦略的に展開していく。

また、これまで取り組んできた第1次観光振興計画の内容を最大限に活かし、観光客入込数増加による町内事業者の売上高向上や雇用の創出を図る。

2. 計画対象期間

令和8年4月からの令和17年3月までの10年間の計画

3. 計画策定期限

令和7年度末（令和8年3月予定）策定

第2次観光振興計画

[illegible]

アンケート(案)について

①実施目的

第2次観光振興計画の策定にあたり、町民の観光に対する意識調査を目的とする

②対象

町のライン登録者、約3,000名。

③実施時期 7月上旬 2週間

④内容 別紙のとおり

会津美里町第2次観光振興計画 アンケート（案）

本アンケートは、第2次観光振興計画策定にあたり、町民の観光に対する意識やニーズを把握し、持続可能な観光振興や地域活性化に繋げるために実施するものであります。

1. 性別 1. 男性 2. 女性 3. その他
2. 年齢
1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上
3. 居住エリア 1. 高田地区 2. 本郷地区 3. 新鶴地区
4. 主要3地域（高田地区/本郷地区/新鶴地区）において、それぞれあなたが一番観光客を誘致できると思う観光スポットはどこですか？
- A 高田地区 1. 伊佐須美神社 2. 龍興寺 3. 蓋沼森林自然公園 4. 法用寺
5. その他（ ）
- B 本郷地区 1. 向羽黒山城跡地 2. 本郷焼窯元 3. セセらぎ公園オートキャンプ場
4. 左下がり観音 5. その他（ ）
- C 新鶴地区 1. 新鶴温泉 2. 新鶴ワイナリー 3. 中田観音 4. ふれあいの森公園
5. その他（ ）
5. 会津美里町で一番好きな観光資源はなんですか？（複数回答）
1. 会津三十三観音巡り 2. 御田植祭り 3. 高田大俵引き 4. 天海大僧正
5. 西勝の彼岸獅子 6. 向羽黒山城まつり 7. 会津本郷焼 8. 会津人参 9. 高田梅
10. ぶどう・ワイン 11. 日本酒 12. 高田せんべい 13. 宮川千本桜 14. 宮川ダム
15. その他（ ）
6. 会津美里町のお土産と言え、なにを思い浮かべますか？（複数回答）
1. 高田梅 2. 会津本郷焼 3. 会津人参 4. ぶどう・ワイン 5. 日本酒
6. 高田せんべい 7. 会津人参 8. その他（ ）
7. 会津美里町の観光に足りないと思うものはなんですか？（複数回答）
1. 宿泊施設 2. 公共交通機関 3. 買い物処 4. エンターテイメント
5. 周遊プラン 6. お土産 7. お休み処 8. 飲食店 9. きれいなトイレ
10. その他（ ）
8. 福島県屈指の観光地である会津地域に立地する町として、観光客が町に足を運んでもらうためには、具体的にどのようなことを行うべきだと思いますか？（自由回答）

ワークショップ（案）について

①実施目的

第2次観光振興計画の策定にあたり、町民の観光に対する意識調査を目的とする

②対象

高田、本郷、新鶴で各1回、実施。各地区で約10名前後を想定

③実施時期 7月、8月

④内容 アンケートの集計結果を材料に、観光誘客を起点とした地域経済の循環をテーマに高田、本郷、新鶴のどここの何に、誰が、どのように注力すればよいかを課題とする。

次回 第2回協議会

アンケート、ワークショップで出た意見、要望を加味し、
第2次観光振興計画素案を協議会に提出、協議会委員の意見を伺い、
第3回 10月上旬 計画（案）を提出し、協議会として最終決定予定